

営農技術情報

平成29年 8月 2 日発行

畑作(ばれいしょ)8月号

上川農業改良普及センター名寄支所 TEL01654-2-4524
JA道北なよろ TEL01655-3-2521

～ 軟腐病の発生に注意して下さい! ～

1 病害虫防除

(1) 軟腐病

本年は、7月以降、高温多湿で推移しているため、発生が多い状況です。しおれ症状や下葉(地際)や茎の折損部からの発生に注意して下さい。また、拡大防止のため発病株はできるだけ抜き取った上で、防除を実施するようにしましょう。

(2) 疫病

茎葉処理まで塊茎腐敗に効果のある薬剤で防除を実施し、腐敗の発生を防ぎましょう。また、降雨が予想される場合は、「ダブルインターバル」散布をご検討下さい。

【疫病(塊茎腐敗に有効)・軟腐病の防除薬剤例】(登録内容は平成29年8月1日時点)

病害	薬剤名	系統名	使用倍率		使用時期	使用回数
			通常	ダブルインターバル		
疫病 (塊茎腐敗にも有効)	フロンサイドSC	他合成	1,000~2,000倍	1,500倍	14日前	4回
	プロポーズ顆粒水和剤	CAA・クロニトリル	750~1,000倍	750倍	7日前	3回
	リライアブルフロアブル	ベンズアミド・カーバメート	800~1,000倍	800倍	7日前	3回
	ランマンフロアブル	Qil	1,000~2,000倍	1,000倍	7日前	4回
軟腐病	スターナ水和剤	カルボン酸	1,000倍		7日前	5回
	カスミンボルドー	抗生物質・無機銅	500~800倍		7日前	3回
	アグリマイシン-100	抗生物質	1,000~1,600倍		3日前	5回

注1:「フロンサイドSC」、「プロポーズ顆粒水和剤」は夏疫病にも登録があります。

注2:「カスミンボルドー」、「アグリマイシン-100」は疫病にも登録があります。

(3) アブラムシ類

現時点での発生は少ない状況ですが、周辺作物の収穫にともない、ほ場内へ移行してくるおそれがありますので、発生状況に注意し、防除を実施しましょう。

【アブラムシ類の防除薬剤例】(登録内容は平成29年8月1日時点)

薬剤名	系統名	使用倍率	使用時期	使用回数	浸透性	効果発現	残効性	アブラムシ種類		
								ヒゲ	モモ	ワタ
ウララDF	その他	2,000~4,000倍	7日前	2回	○	遅	長	○	◎	◎
コルト顆粒水和剤	その他	4,000~8,000倍	前日	3回	○	速	長	◎	◎	◎
アドマイヤー顆粒水和剤	ネオニコチノイド	5,000~15,000倍	14日前	2回	○	中	長	○	◎	◎

注3:アブラムシ種類 ヒゲ:ジャガイモヒゲナガ、モモ:モモアカ、◎:優れる、○:有効、(ホクレン資料参照)

注4:抵抗性発現のおそれがあるため、同系統の薬剤の連用は避け、他系統薬剤とのローテーション防除を心がける

注5:「ウララDF」は、吸汁を阻害して衰弱死に至らせるまでに数日かかるが、吸汁阻害は速効的である。

注6:「アドマイヤー顆粒水和剤」はオオニジュウヤホシテントウ(テントウムシダマシ)にも登録があります。

農薬安全使用

- ・必ずラベルを読み、使用量・時期・回数を確認し、適正に使用しましょう
- ・周辺作物への農薬飛散には十分注意しましょう。